

民間事業者による広報紙配布の試験的实施について

1.背景

広報こしがやの配布については、自治会加入世帯には、自治会の協力により各世帯にポスティングしている。

また、集合住宅等の自治会未加入世帯には、10世帯以上を取りまとめて配送している。さらに、市内の公共施設をはじめ、市内各駅、郵便局など、200カ所以上(208箇所)に備え置いている。

当面の間、現在の方法での配布を継続していくが、自治会については、加入率が6割(57.7パーセント 世帯数:162,676、加入世帯:93,797 ※2024年5月1日時点(市民活動支援課確認))を下回り、さらに、高齢化等から負担の軽減も求められている。

2.主な課題

(1)自治会の負担

- ・自治会の広報配布担当者の高齢化や担い手が不足している。
- ・配布担当者の負担が大きい。
- ・地域によっては配布されるまでに期間を要する。

(2)配布率の低さ

- ・自治会加入率の低下から実態としては全戸配布とは言い難い。

市内の各地区でこうした課題がある中、南越谷地区から地区内の全戸へポスティングの要望

市からの回答(抜粋)

R4年度 費用面の課題(民間事業者)、受注者の課題(シルバー人材センター×)があるが検討する。

R5年度 いずれかの地区にモデルケースとして試験実施し、全戸配布に向けた方法を模索する。

R6年度 ①シルバー人材センター、②広告費を財源としたポスティング事業者による配布の試験的な実施を検討する。

南越谷地区の状況

- ・世帯数 13,749(令和6年1月1日時点)
- ・地区内の自治会加入世帯数 8,487(約61%)



3.事業内容

南越谷地区の全世帯をモデルケースとして民間事業者でのポスティングおよびシルバー人材センターでのポスティングを実施し(3か月)、アンケート等による検証を行う。

- 【検証事項】 民間事業者によるポスティングと広告を活用した費用の軽減
 シルバー人材センターによるポスティング実施の課題
 自治会加入世帯以外への広報紙配布(ポスティング)の効果

※あわせて、駅や公共施設での配布や郵送について、あらためて検証し、課題と方向性を抽出

4.予算

2,000千円

シルバー人材センター…340千円(配布のみ。南越谷地区内の5,620世帯)

サイネックス…1,600千円(アンケート調査含む。南越谷地区内の8,129世帯)